



T O K I M E K I

SADO NIIGATA TOURISM ZONE

トキめき佐渡・にいがた観光圏シンポジウム



# 佐渡 & にいがた 観光で 地域を元気に

参加費無料  
定員150名

申し込み不要

佐渡島とその玄関口となる新潟市。

海をはさんだ両市と一緒に観光地域づくりを考える日。

今や“観光”は、地域みんなで関わる時代!

あなたの暮らしが楽しくなる“観光地域づくり”へ参加しましょう。

2018 **3/18** 日

会場

あいぽーと佐渡

〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷384-11

時間

12:45~16:00

11:45~ 開場

12:45~ オープニング(鬼太鼓)

13:00~ イントロダクション

13:20~ パネルディスカッション第1部

14:30~ 新潟古町芸妓の舞

14:45~ パネルディスカッション第2部

## 食

11:45~13:00にMATSURI料理を振る舞います。  
お早めにお越しください。

## 祭礼

佐渡とにいがたの代表的な芸能である、  
鬼太鼓と古町芸妓が楽しめる!

### パネリスト



大正大学  
地域構想研究所 教授

清水 慎一氏

祝 雅之氏 (佐渡市産業観光部観光振興課 課長)

笠原 秀紀氏 (新潟市観光・国際交流部 国際・広域観光担当部長)

### 観光地域づくりマネージャー

上之山 博文 (公益財団法人 鼓童文化財団)

小倉 壮平 (特定非営利活動法人 いわむらや)

浜本 裕広 (一般社団法人佐渡観光協会)

伊藤 慎太郎 (DESIGN PRODUCTION sa°C)

佐藤 達也 (一般社団法人佐渡観光協会)



NIIGATA

※MATSURI料理・ノベルティは数に限りがございます。

※イベントの内容は変更になる場合もございます。

### 参加者の方へ特典として記念品をプレゼント!

- 佐渡産米粉のビスコッティ〜にいがたの茶豆味〜 ●佐渡×にいがたイラストクリアファイル(にいがたもようコラボ)
- いずれも本イベント限定のアイテムです。

主催:トキめき佐渡・にいがた観光圏

お問い合わせ:佐渡観光協会 〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷384-11(あいぽーと佐渡内) TEL 0259-23-5230 FAX 0259-23-5232



# 佐渡&にいがた 観光で地域を元気に

トキめき佐渡・にいがた観光圏では、佐渡市と新潟市で連携し、観光客を受け入れ、地域を盛り上げる事業を行っています。本イベントでは、トキめき佐渡・にいがた観光圏が、どのような考えで、誰に向けてどんな活動してきたかをお伝えします。そして、これからどんな地域づくりを行っていくか今まで“観光”に携わってこなかった方とも一緒に考えていきたいと思っています。どなたでもお気軽にご参加ください。

## ■ プログラム

11:45～ 開場

12:45～ オープニング:鬼太鼓

13:00～

イントロダクション[清水 慎一 氏(大正大学地域構想研究所 教授)]

13:20～

〈第1部〉インバウンド向けの滞在プログラム開発とは?

訪日外国人観光客が3000万人まで目前という時代が到来し、消費額も過去最高を記録するなか、日本各地で外国人観光客の誘致合戦が盛り上がっています。また、東京や京都といったゴールデン・ルートとは別の『まだ見ぬ観光地』を求める気運は高まりを見せ、地方にも熱い眼差しが向けられています。今こそ、地域の宝を磨き売り込む時。インバウンドの心に突き刺さる滞在プログラム開発の最前線へ誘います!

11:45～13:00  
参加者の方へ  
MATSURI料理を  
振る舞います

14:30～ 第2部オープニング:新潟古町芸妓の舞

14:45～

〈第2部〉インタープリター(通訳ガイド)を育成せよ!

私たちの住む地域に外国人観光客が訪れた時、あなたなら何をしてあげられるでしょうか?道案内や観光スポットの紹介、それに、地元の美味しい食事処を教えるなど、このような温かいおもてなしに勝る宣伝はありません。しかし、少し突っ込んだコミュニケーションや交流となると途端に怖じ気づくもの。とはいえ、地域の宝をより深く知ってもらうには語学力とガイド能力に優れた人材が欠かせません。外国人観光客が増えてきた今、インタープリターのありかたについて考えてみましょう!

16:00 閉会予定

## ■ パネリスト

清水 慎一 氏 (大正大学地域構想研究所 教授)

大正大学地域構想研究所教授、1948年生の団塊の世代。1972年東京大学法学部卒業後日本国有鉄道入社、1987年JR東日本に移行し本社取締役営業部長、取締役仙台支社長。2004年6月に(株)ジェイティービー常務取締役役に就任。着地型観光をベースにした地域交流ビジネスを打ち出す。2011年退任。2008年から2016年まで立教大学観光学部特任教授、兼任講師。2016年に大正大学地域構想研究所教授就任。

日本版DMOの先駆けである観光地域づくりプラットフォームを推進。現在日本版DMO推進研究会顧問。長野県観光戦略アドバイザー、新潟県観光立県推進行動計画検討委員会委員長、国土交通省「離島振興のあり方検討委員会座長」、佐渡・雪国・ニセコ・別府などが加盟する全国観光圏推進協議会アドバイザー。観光地域づくりマネージャーを育成する清水塾塾長や各地のシンポジウムやDMO勉強会の講師などを務める。

祝 雅之 氏

(佐渡市産業観光部観光振興課 課長)

笠原 秀紀 氏

(新潟市観光・国際交流部  
国際・広域観光担当部長)

## ■ 観光地域づくりマネージャー

上之山 博文

(公益財団法人 鼓童文化財団)

小倉 壮平

(特定非営利活動法人 いわむろや)

浜本 裕広

(一般社団法人佐渡観光協会)

伊藤 慎太郎

(DESIGN PRODUCTION sa°C)

佐藤 達也

(一般社団法人佐渡観光協会)

トキめき佐渡・にいがた観光圏ブランドコンセプト

## 鬼が舞う、祭礼の島へ

～新潟みなどの先に、永遠に続く音がある～

一鬼を味方につけた島、佐渡。120の集落で受け継がれる「鬼太鼓」は、災厄を払い、豊年満作を祈る神事でありながら、その主役を担うのは神でも精霊でもなく、鬼。集落ごとに鬼太鼓の形は異なり、ひとつとして同じものはない。佐渡の人々は一年に一度の祭礼を心待ちにし、集落の家々を巡る鬼を万感の思いで歓迎する。鬼太鼓は、島の祈りであり、感謝であり、誇りなのだ。一他の地域にはない鬼太鼓のような特徴的な文化を中心に、観光客へ本当の地域の魅力が伝わる観光地域づくりを目指しています。

